

【算数】

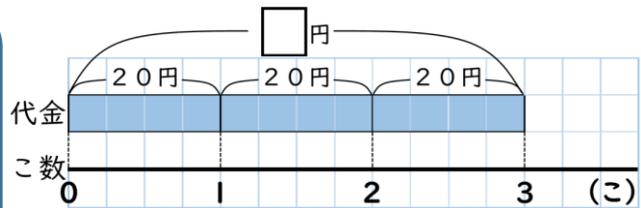
<学習内容>

◆何十、何百のかけ算（教科書17ページ）

「 30×5 」、「 40×2 」のように、
大きな数のかけ算にちょうせん！

「何十×何」は、どうやって計算すればよいかな？

(1) 右のような図は「テープ図」といって、式を立てるときヒントになるよ。教科書をお手本にして、ノートにうつしてみよう。



マス目もそのままマネしよう！



(2) 式をノートに書こう。その式になる理ゆうを、図をつかって考えよう。

テープ図の□のところは、もんだいで聞かれているところだよ。



「〇〇が△こ」…これって何算だったかな??

(3) はるさんの図をノートにかいて、答えが何円かをたしかめよう。

(4) 式と答えを見て、何か気付いたきまりはないかな? ノートに書こう。

はるさんやぐりちゃん、150 ページ「算数のミカタ」がヒントだよ!



(5) 今回の学習をつかえば、きっと「何百」のかけ算もできるよ!
「 200×3 」はいくつかな? 式と答えをノートに書こう。

<保護者による関わり方のポイント> ◆何十、何百のかけ算（教科書17ページ）

- ・ここで登場する「テープ図」は、後の数直線につながります。数直線は、式を立てる上で高学年でも重要な表現方法です。図をかく経験、図と式が結び付いていることを子どもが実感できることが大切です。
- ・数をまとまりで捉えることが苦手な子もいます。困っている時は、硬貨を使うことも有効です。10 や 100 のまとまり、その (2×3) 個分で計算できることを視覚的に理解する助けになることが期待できます。